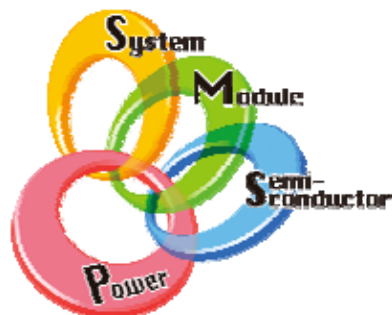


第90期(2013年3月期) 第2四半期決算説明会



2012年11月16日(金)
新電元工業株式会社

2013年3月期 第2四半期 決算説明

取締役 兼 上席執行役員 経理担当
荒幡 義光

単位:億円(億円未満四捨五入)

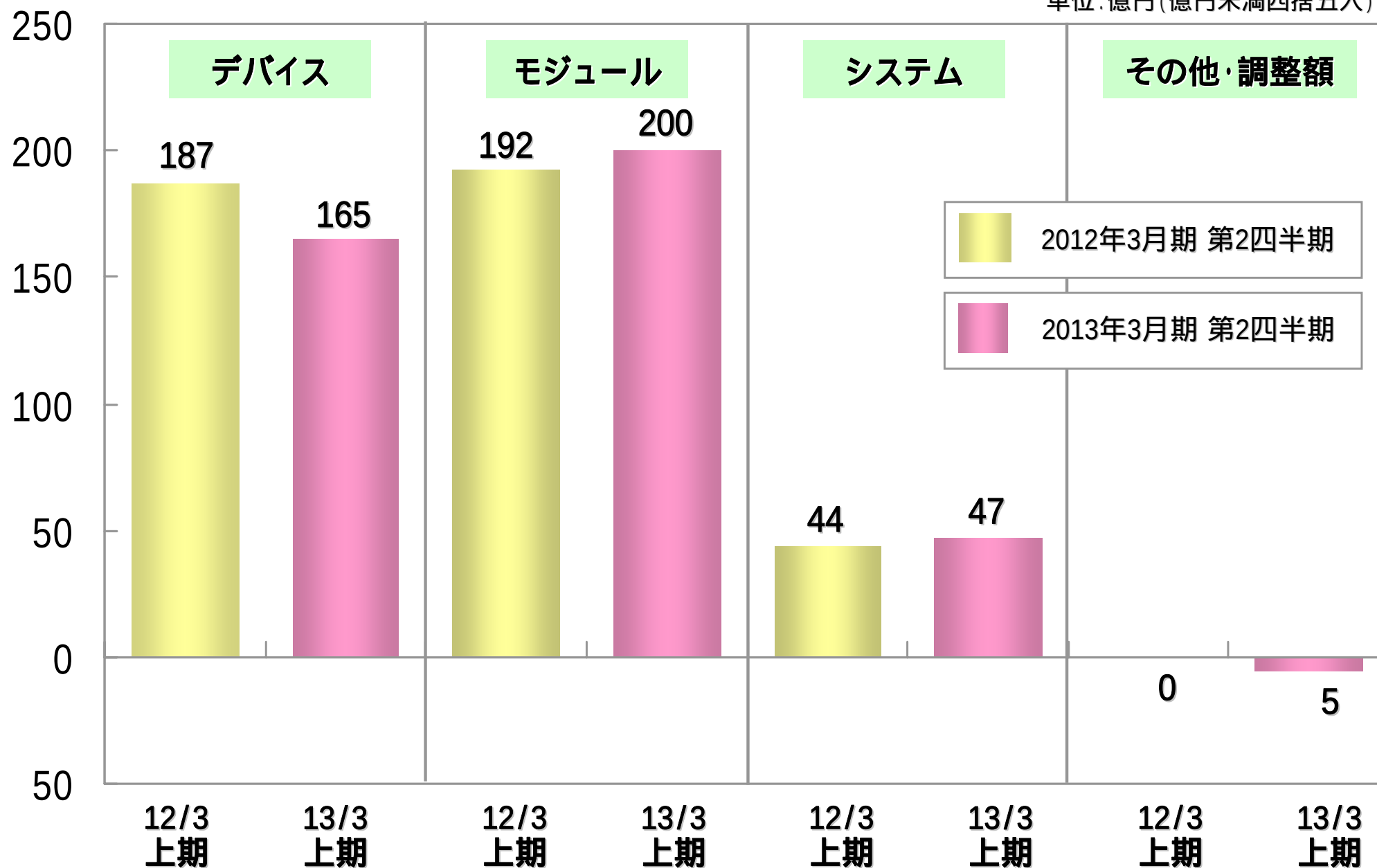
	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	比較
売上高	423	407	16
営業利益	36	2	34
経常損益	25	8	33
四半期純損益	18	9	27

ポイント

- 自動車市場向け半導体需要好調も家電・産業機器市場低迷
- アジア二輪車市場減速
- 減収、タイの洪水、アジア通貨安等の影響で大幅減益

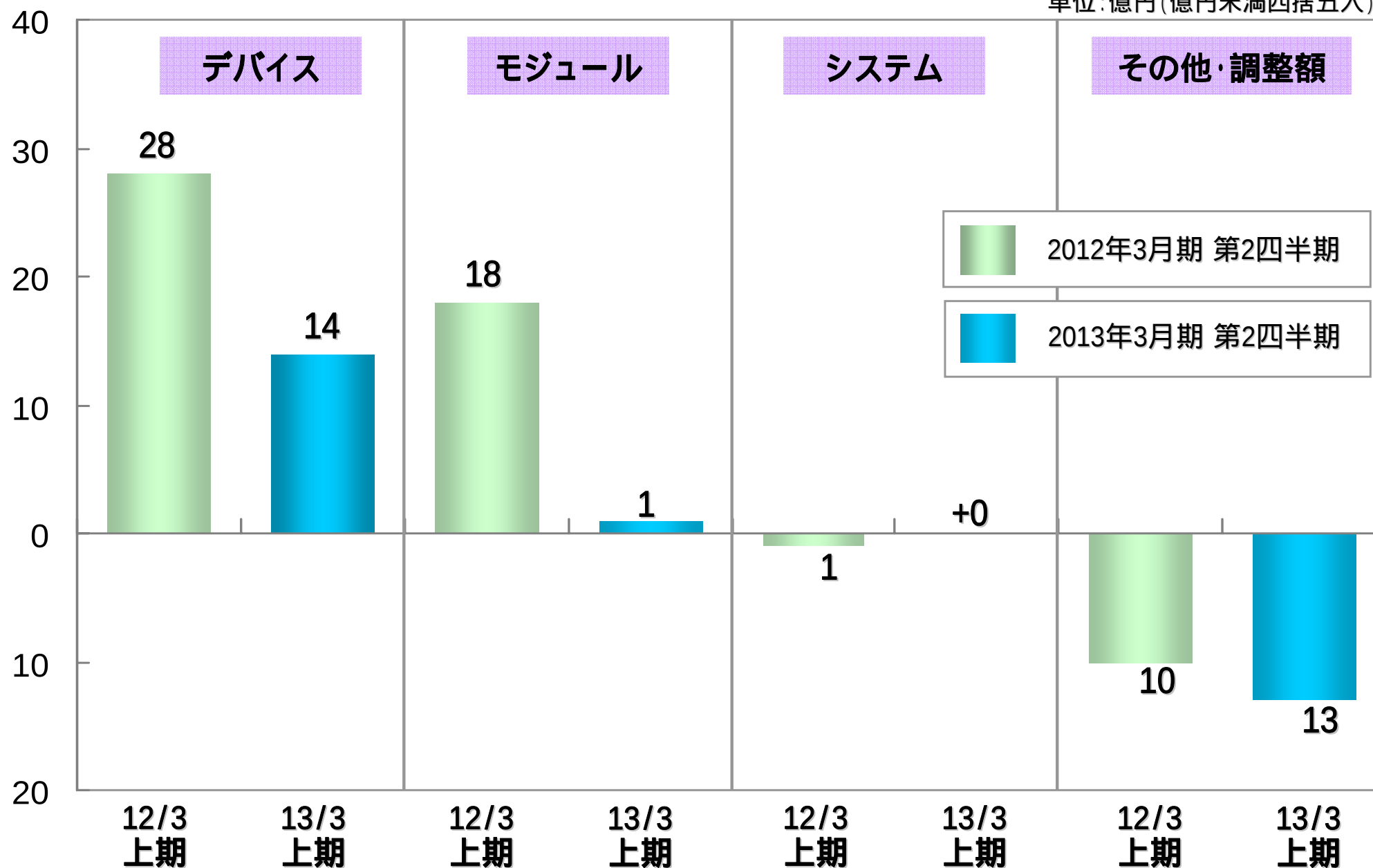
第2四半期セグメント別売上高

単位: 億円 (億円未満四捨五入)



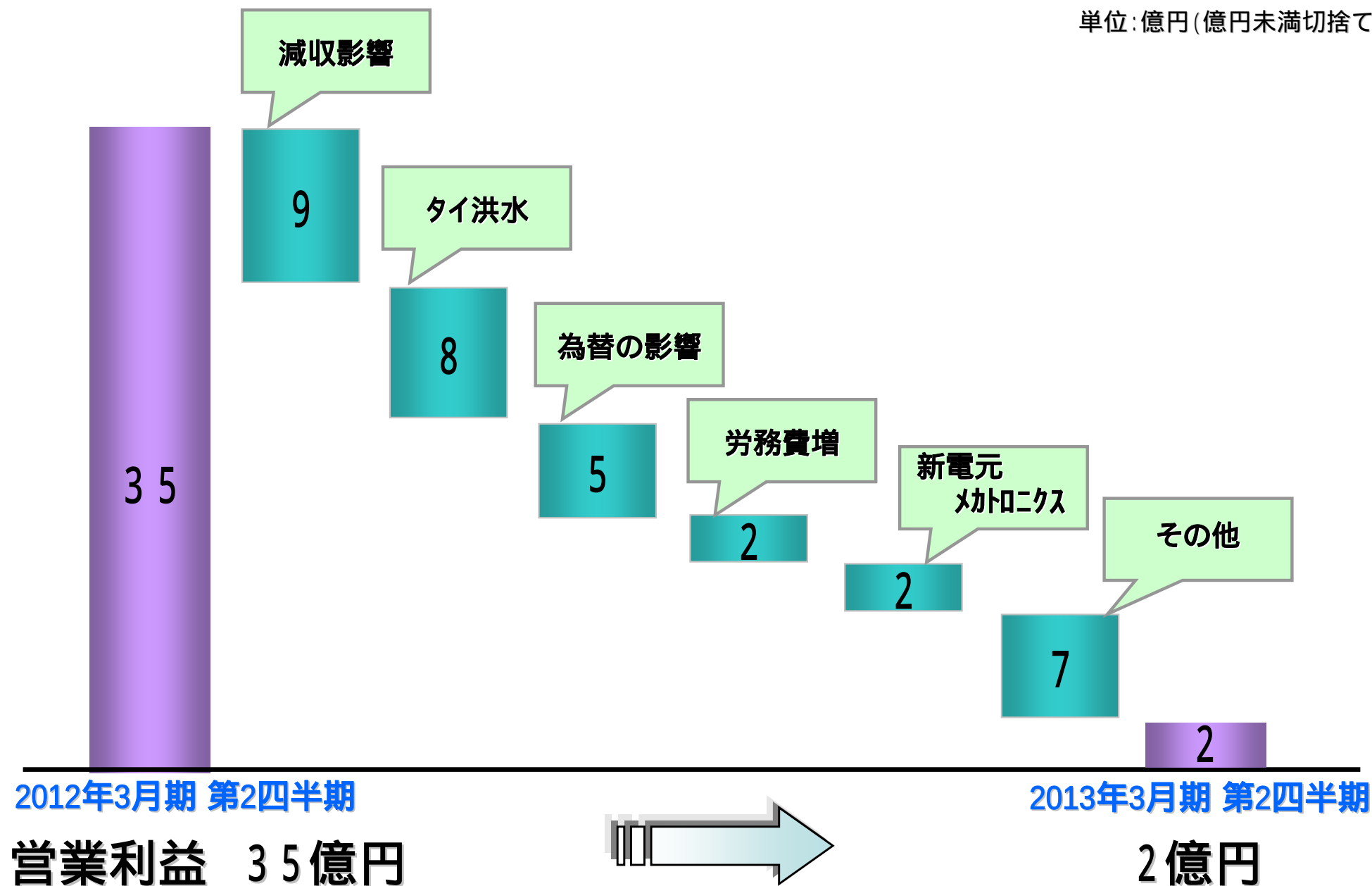
第2四半期セグメント別営業利益

単位: 億円 (億円未満四捨五入)



第2四半期営業利益増減の要因

単位: 億円 (億円未満切捨て)



第2四半期経常損益・当期純損益

単位:百万円(百万円未満切捨て)

	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減	増減比 (%)
営業利益	3,582	216	3,366	93.9%
営業外収益	396	525	128	32.4%
(持分法による投資利益)	62	118	56	90.2%
営業外費用	1,451	1,520	68	4.7%
(為替差損)	570	647	77	13.5%
経常損益	2,527	778	3,305	-
特別損失	57	111	54	94.2%
四半期純損益	1,786	905	2,691	-

ポイント

- 連結子会社 1社を持分法適用関連会社へ異動、営業外収益増
- アジア通貨を中心に円高進行も、為替差損は前期並み

第2四半期純資産推移(連結ベース)

単位: 百万円 (百万円未満切捨て)

科目		2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期 第2四半期
純資産	資本金	17,823	17,823	17,823
	資本剰余金	10,336	9,009	9,009
	利益剰余金	8,111	9,182	7,737
	自己株式	110	112	113
	株主資本合計	36,161	35,902	34,457
	その他有価証券評価差額金	666	713	703
	為替換算調整勘定	1,579	2,074	2,229
	少数株主持分	465	0	0
計		35,714	34,541	31,524

総資産合計	103,336	111,920	108,870
-------	---------	---------	---------

自己資本比率	34.1%	30.9%	29.0%
--------	-------	-------	-------

単位: 億円 (億円未満四捨五入)

	2012年3月期	2013年3月期(予想:11/7公表値)			比 較
		上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	
売 上 高	826	407	456	863	37
営 業 利 益	50	2	13	15	35
経 常 損 益	37	8	4	3	40
当 期 純 損 益	15	9	10	1	14

ポイント

- 為替レート: ドル / 円 75円、ユーロ / 円 100円
- タイ洪水被害、保険金収入を特別利益に計上

2013年3月期 連結業績見通し～セグメント別～

単位:億円(億円未満四捨五入)

		2013年3月期(予想)			上・下比較
		上期(実績)	下期(予想)	通期(予想)	
売上高	デバイス	165	169	334	2.4%
	モジュール	200	226	426	13.0%
	システム	47	62	109	31.9%
	その他・調整額	5	2	6	-
	合計	407	456	863	12.0%
営業利益	デバイス	14	13	27	7.1%
	モジュール	1	6	7	500.0%
	システム	0	7	7	-
	その他・調整額	13	14	26	-
	合計	2	13	15	550.0%

ポイント

デバイス 自動車市場堅調、家電市場 白物・照明向け回復見込む
 モジュール アジア二輪市場底打ち、
 太陽光発電向けパワーコンディショナ大幅増
 システム 国内通信市場、整流器需要は下期に向け増加





Maximizing energy conversion efficiency for the benefit of humanity and society
エネルギーの変換効率を極限まで追求することにより、人類と社会に貢献します。

2013年3月期の業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

ご清聴有難うございました。